

津波フラッグだ！すぐ避難！ ～東日本大震災から15年～

今年の3月で東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）から15年となります。この地震では津波による甚大な被害が出ました。沖縄県では3月になると海開きが始まり海のレジャーで過ごす方も多くいらっしゃるかと思います。津波はいつ発生するかわかりません。「津波から身を守るために」、正しい知識を身につけておきましょう！



2011年東北地方太平洋沖地震の津波被害（気象庁現地調査写真より）

津波フラッグ



津波フラッグとは、長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインで、津波警報等が発表されたことをお知らせするものです。海辺での「**津波フラッグは避難の合図**」だと覚えておいてください。

津波フラッグは避難の合図

海から離れて
高いところへ！

いつ使われる？	どこで使われる？	見かけたら？
※ 津波警報などの発表時 <small>※大津波警報・津波警報・津波注意報</small>	海水浴場など <small>波音や風で音が聞き取りづらいため、旗で視覚的に伝達</small>	高いところへにげて！ <small>すぐに海から離れ、高台や津波避難タワーなどへ避難を</small>

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

- **危険な場所を確認しよう！**
自宅や学校、職場の周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形・標識から確認しておきましょう。
- **避難場所を確認しよう！**
津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。
- **訓練に参加しよう！**
実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

海の近くでどれかひとつでも当てはまったら、
海辺から離れて、
安全な場所にすぐに避難しよう！



- ◆ 津波フラッグをみた
- ◆ 大津波警報、津波警報、津波注意報を見聞きした
- ◆ 強い揺れを感じた
- ◆ 弱くても長い時間ゆったりした揺れを感じた



地震に関する情報は
沖縄气象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄气象台

Q 検索

